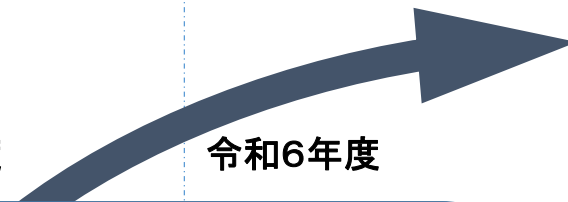




GIGAスクール端末の活用に関する今後の見通し



令和4年度

令和5年度

令和6年度



令和3年度

活用頻度: 中～高

◎端末利活用推進

- ①授業のねらいを達成するための効率的かつ効果的な活用
 - ②学習の定着や、評価・支援の充実を目指した活用
 - ③教科以外での効果的な活用(朝活動、委員会等)
 - ④児童生徒による、必要に応じた自発的な活用
(課題に応じて、学習ツールの一つとして端末を自ら選択する等)
 - ⑤持ち帰り学習(適宜～常時)
- ※学習者用デジタル教科書の活用(国の動向を注視しながら)



活用頻度: 低～中

◎端末利活用推進

- ①まずはさわってみる
- ②まずは使ってみる
- ③教科以外での活用
- ④端末持ち帰り練習
(非常等の備え)

◎「深める」活用

- ・多様な意見のよさを生かして合意形成したり、自分に合った解決方法を決めたりする
- ・共有した情報を基に意見交換を行いながら、改善を繰り返し、学習の質を高める
- ・各教科で得たスキルを統合し、課題を解決する(教科横断的な取組) 等

◎「つながる」活用

- ・一人一人に教材・資料を提示する
- ・一人一人の考えを瞬時に共有する
- ・児童生徒が協働で資料をつくる
- ・遠隔で学校や施設とつながる
- ・アンケート機能を活用する
- ・デジタル教材を活用し、学習進捗を把握する 等



端末活用のロードマップ

令和2年度

◎端末利活用開始

- ・クラウド利用のガイドライン策定
- ・起動・ログインの方法
- ・ルール確認 等

端末活用のステップ

- ◎個々の活用
- ・カメラ機能の活用
- ・調べ学習での活用
- ・発表資料等の作成
- ・動画や番組の視聴
- ・日本語入力の習得 等
- ◎情報モラルの指導
- ◎クラウド型統合アプリケーションの基本的な使い方習得